

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 9 月 13 日 (2007.9.13)

【公表番号】特表 2007-521377(P2007-521377A)

【公表日】平成 19 年 8 月 2 日 (2007.8.2)

【年通号数】公開・登録公報 2007-029

【出願番号】特願 2006-518850(P2006-518850)

【国際特許分類】

C 0 9 J 163/00 (2006.01)

C 0 9 J 175/04 (2006.01)

C 0 9 J 175/08 (2006.01)

C 0 9 J 5/04 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 163/00

C 0 9 J 175/04

C 0 9 J 175/08

C 0 9 J 5/04

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 7 月 6 日 (2007.7.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

A) 1 種又はそれ以上のエポキシ樹脂、

B) 1 種又はそれ以上のゴム変性エポキシ樹脂、

C) 1 種又はそれ以上のイソシアネート末端プリポリマーと、1 個又はそれ以上のビスフェノール、フェノール、ベンジルアルコール、アミノフェニル又はベンジルアミノ部分を有する 1 種又はそれ以上のキャッピング化合物との、キャッピング化合物で末端停止されている反応生成物を含む 1 種又はそれ以上の強化用組成物、

D) 100 又はそれ以上の温度で硬化を開始する、1 種又はそれ以上の硬化剤及び 1 種又はそれ以上のエポキシ樹脂用触媒並びに

E) 任意的な、エポキシ接着剤組成物に有用な、充填材、接着促進剤、湿潤剤又はレオロジー添加剤

を含んでなり、45 で、20 Pa・s ~ 400 Pa・s の粘度を有する接着組成物。

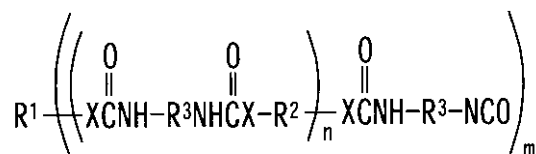
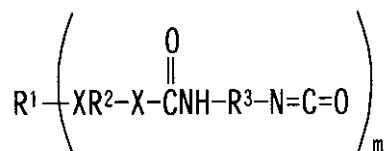
【請求項 2】

キャッピング化合物のモノ芳香族フェノール、アミン、フェニル、ベンジルアミノ又はベンジルアルコール基が、1 個の芳香族部分及びアミノ基又はヒドロキシル基とイソシアネート基との反応を妨害しない、芳香族環上の 1 個の脂肪族置換基を含む請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

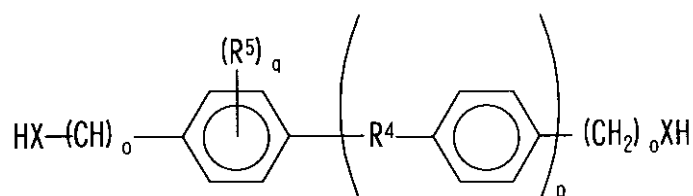
イソシアネート末端プリポリマーが式：

【化 1】



の 1 個に対応し、そしてキャッピング化合物が、式：

【化 2】



(式中、 R^1 は、それぞれ独立に、 $C_2 \sim C_{20}$ の m 価のアルキル部分であり、

R^2 は、それぞれ独立に、ポリエーテル鎖であり、

R^3 は、それぞれ独立に、アルキレン、シクロアルキレン又は混合したアルキレン及びシクロアルキレン部分であり、

R^4 は、直接結合又はアルキレン、カルボニル、酸素、カルボキシルオキシ若しくはアミド部分であり、

R^5 は、それぞれ独立に、アルキル、アルケニル、アルキルオキシ又はアリールオキシ部分であるが、 $p = 1$ の場合には $q = 0$ であり、

X は、 O 又は $-NR^6$ であるが、 p が 1 である場合には X は O であり、 p が 0 である場合、 X は少なくとも 1 個存在して O であり、

R^6 は、それぞれ独立に、水素又はアルキルであり、

m は、それぞれ独立に、1 ~ 6 の数であり、

n は、それぞれ独立に、1 以上の数であり、

o は、それぞれ独立に、 p が 0 である場合には 0 又は 1 であり、そして p が 1 である場合には 0 であり、

p は、それぞれ独立に、0 又は 1 であり、そして

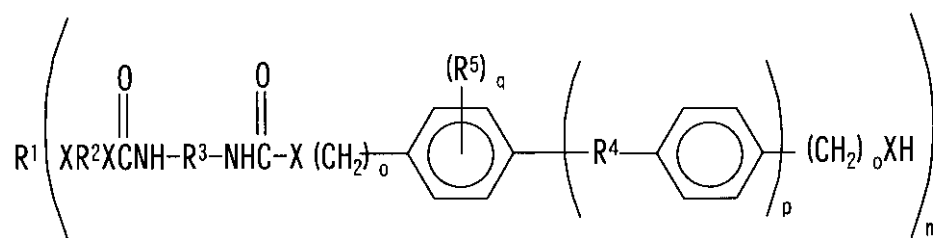
q は、それぞれ独立に、0 ~ 1 の数である)

に対応する請求項 1 に記載の組成物。

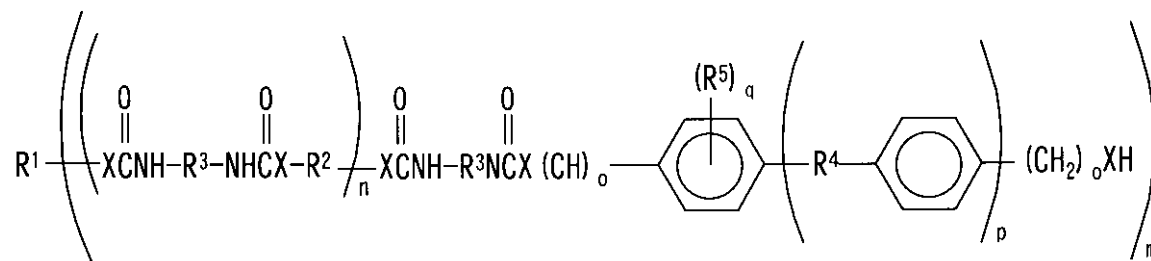
【請求項 4】

前記強化組成物が式：

【化 3】



又は



(式中、 R^1 は、それぞれ独立に、 $C_2 \sim C_{20}$ の m 価のアルキル部分であり、

R^2 は、それぞれ独立に、ポリエーテル鎖であり、

R^3 は、それぞれ独立に、任意的に1個又はそれ以上の酸素又は硫黄原子を含む、アルキレン、シクロアルキレン又は混合したアルキレン及びシクロアルキレン部分であり、

R^4 は、直接結合又はアルキレン、カルボニル、酸素、カルボキシシロキシ若しくはアミド部分であり、

R^5 は、それぞれ独立に、アルキル、アルケニル、アルキルオキシ又はアリールオキシ部分であるが、 $p = 1$ の場合には $q = 0$ であり、

X は、 O 又は $-NR^6$ であるが、 p が1である場合には X は O であり、 p が0である場合には X は少なくとも1個存在して O であり、

R^6 は、それぞれ独立に、水素又はアルキルであり、

m は、それぞれ独立に、1～6の数であり、

n は、それぞれ独立に、1又はそれ以上の数であり、

o は、それぞれ独立に、 p が0である場合には0又は1であり、そして p が1である場合には0であり、

p は、それぞれ独立に、0又は1であり、そして

q は、それぞれ独立に、0～1の数である)

の1個に対応する請求項3に記載の組成物。

【請求項5】

R^1 が、それぞれ独立に、2～3価の $C_2 \sim C_8$ アルキル部分であり、

R^2 が、400～4000の重量平均分子量を有するポリアルキレンポリエーテル鎖であり、

R^3 が、それぞれ独立に、 $C_2 \sim C_{20}$ アルキレン、シクロアルキレン又は混合したアルキレン及びシクロアルキレン部分であり、

R^4 が、 $C_1 \sim C_{20}$ 直鎖又は分枝鎖アルキレン部分であり、

R^5 が、それぞれ独立に、 $C_1 \sim C_{20}$ アルキル、 $C_2 \sim C_{20}$ アルケニル、 $C_1 \sim C_{20}$ アルコキシ又は $C_6 \sim C_{20}$ アリールオキシ部分であるが、 p が0である場合には R^5 は $C_1 \sim C_{20}$ アルキル部分である、

R^6 が、それぞれ独立に、水素又は $C_1 \sim C_4$ アルキル部分であり、

m が、それぞれ独立に、2 ~ 4 であり、
 n が、それぞれ独立に、1 ~ 3 であり、
 p が、それぞれ独立に、0 又は 1 の数であり、そして
 q が、0 又は 1 である

請求項 4 に記載の組成物。

【請求項 6】

1 個又はそれ以上の基体に、請求項 1 に記載の接着組成物を適用し、この基体を、1 個又はそれ以上の基体の間に配置させた接着剤と接触させ、そして、この接着剤を接着組成物が硬化する温度まで加熱することを含んでなる 2 個又はそれ以上の基体の接着方法。

【請求項 7】

請求項 1 ~ 5 の何れか 1 項に記載の接着剤のストリームを基体に適用することを含んでなる接着組成物の適用方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

(式中、 R^1 は、それぞれ独立に、 $C_2 \sim C_{20}$ の m 価のアルキル部分 (moiety) であり、
 R^2 は、それぞれ独立に、ポリエーテル鎖であり、
 R^3 は、それぞれ独立に、任意的に 1 個又はそれ以上の酸素又は硫黄原子を含む、アルキレン、シクロアルキレン又は混合したアルキレン及びシクロアルキレン部分であり、
 R^4 は、直接結合又はアルキレン、カルボニル、酸素、カルボキシルオキシ若しくはアミド部分であり、
 R^5 は、それぞれ独立に、アルキル、アルケニル、アルコキシ又はアリアルオキシ部分であるが、 $p = 1$ の場合には $q = 0$ であり、
 X は、0 又は $-NR^6$ であるが、 p が 1 である場合には X は 0 であり、 p が 0 である場合には X は少なくとも 1 個存在して 0 であり、
 R^6 は、それぞれ独立に、水素又はアルキルであり、
 m は、それぞれ独立に、1 ~ 6 の数であり、
 n は、それぞれ独立に、1 又はそれ以上の数であり、
 o は、それぞれ独立に、 p が 0 である場合には 0 又は 1 であり、そして p が 1 である場合には 0 であり、
 p は、それぞれ独立に、0 又は 1 であり、そして
 q は、それぞれ独立に、0 ~ 1 の数である)
 の 1 個に対応する。